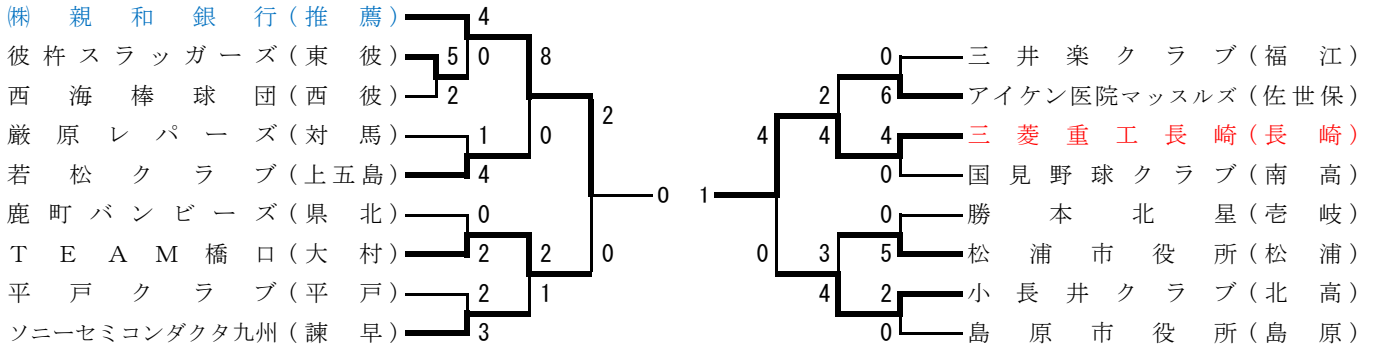


# 重工—親銀、4年連続9度目の決勝対決は重工が雪辱して4勝目

## 第52回長崎県軟式野球選手権大会

会期：平成14年11月2日(土)～11月4日(月)

会場：県営ビッグNスタジアム、かきどまり野球場



(平成14年11月3日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

### 彼杵、西海の乱れつき加点

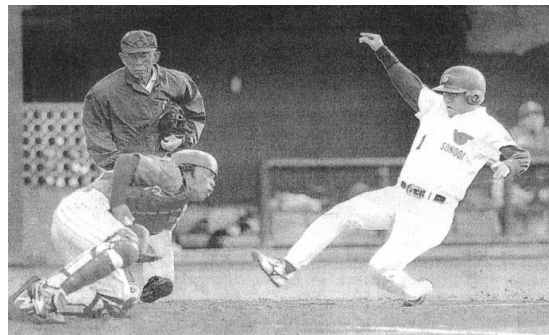
【彼杵】打安点

④波瀬	3	1	0
④松山	0	0	0
②親泊	3	0	0
⑧山下	1	0	0
③下浦	1	0	0
⑦藤田	0	0	1
⑦福木	1	1	1
①鶴	3	0	0
⑦3金谷	2	0	0
⑥三根	2	0	0
H米根	1	0	0
⑥堤浩	0	0	0
⑤後瀬	1	0	0
⑨中瀬	3	1	0
	21	3	2

### 【一回戦】(ビッグN：第1試合)

	振球	犠	盗	失	併	残
彼杵スラッガーズ	004	000	1	5	2	9 2 1 2 0 6
西海棒球隊	000	100	1	2	3	6 0 0 0 0 10

【評】彼杵は三回に6四死球と暴投、藤田の犠飛などで4点を先行。七回には一死二塁から代打福田の左前打で加点した。先発の鶴は被安打5、失点1で完投した。西海は守備も乱れたが先発投手の乱調が響いて2年連続5回目の選手権で初の初戦敗退をした。



3回表彼杵スラッガーズ—死満塁、藤田の中犠飛で三走の親泊が生還して3点目。

### 【二】辻尾浩

【西海】打安点

⑥川口	3	0	0
②4宮崎	2	1	0
⑤15船木	3	1	0
③宮崎	3	1	0
⑧吉田	3	1	0
④1増山	4	0	0
⑨辻尾	3	1	1
⑦山下	2	0	0
7今崎	1	0	0
⑩15馬場	0	0	0
H野口	1	0	0
2太田	2	0	0
	27	5	1

【若松】打安点

⑤森下	4	0	0
④吉村	4	1	0
⑦濱崎	2	1	0
①白石	3	1	0
③榎山	4	1	1
⑨畑田	2	1	0
9深浦	0	0	0
⑥松尾	2	1	1
⑧鶴瀬	3	0	0
②荒木	2	1	1
	26	7	3

## 白石、1安打1失点の好投

### 【二回戦】(ビッグN：第2試合)

	振球	犠	盗	失	併	残
若松クラブ	201	001	0	4	1	4 2 2 1 0 8
厳原レパーズ	000	100	0	1	2	1 1 1 3 0 2

【評】若松の先発、白石は両サイドを丁寧に突く投球で1安打1自責点と危なげなく完投した。打線も初回に榎山の左越え二塁打などで2点を先制。その後も小刻みに加点した。厳原は初回無死二塁の逸機が最後まで響いて、平成8年大会以来2度目の選手権でも白星が挙げられなかった。

### 【二】榎山

【厳原】打安点

⑧長瀬	2	0	0
②木中	3	0	0
⑨1木屋	3	1	0
⑤川崎	3	0	0
⑩17志賀	2	0	1
⑦9阿比留	3	0	0
③内山	2	0	0
⑥一宮	2	0	0
④松村	2	0	0
	22	1	1

【彼杵】打安点

④波瀬	3	0	0
⑥堤浩	3	0	0
6三根	0	0	0
⑦鶴	3	1	0
③浦	2	0	0
②米倉	2	0	0
2親泊	0	0	0
⑧山下	2	0	0
⑤後瀬	2	1	0
①水溜	1	0	0
1金谷	0	0	0
⑨中瀬	1	0	0
H福田	1	0	0
9藤田	0	0	0
	20	2	0

【親和】打安点

④原田	3	0	0
⑤徳永	2	2	0
H木崎	0	0	0
⑧丸本	3	1	1
③添田	2	0	0
②前川	3	1	1
⑦中村	3	0	0
⑨北田	3	2	0
①山田	3	0	0
⑥森山	3	1	1
	25	7	3

## 親銀そつなし “足絡め快勝”

### 【二回戦】(ビッグN：第3試合)

	振球	犠	盗	失	併	残
彼杵スラッガーズ	000	000	0	5	1	0 0 2 0 3
親和銀行	201	001x	4	2	4	0 8 0 0 8

【評】親和銀行の先発・山田が2安打零封の力投で快勝した。山田は球のキレが良かった。打線は初回に前川の左前打などで2点を先行。その後も安打に機動力を絡め、そつなく加点した。彼杵は打線が振るわず、4年ぶり8回目の選手権は上位に食い込めなかった。

### 【二】丸本

【橋口】	打安点
⑤清水	4 2 0
②高瀬	3 0 0
⑧岸川	3 0 0
③本村	2 1 1
④浅沼	3 0 1
⑥大島航	3 0 0
①酒井	3 1 0
⑦浦川	2 1 0
⑨大島義	2 0 0
H真鍋	1 0 0
9中嶋	0 0 0
	26 5 2

### 酒井、カーブ冴え鹿町を完封

【二回戦】(ビッグN:第4試合)

T E A M	橋口	100 010 0	2	2	3	1	4	2	0	6
	鹿町バンビーズ	000 000 0	0	6	1	0	0	4	1	6

【評】橋口の先発酒井が鹿町を2安打零封した。

酒井は伸びのある直球、落差のあるカーブを高低に投げ分けた。打線も初回一死満塁で浅沼の二ゴロの間に1点を先取。五回は本村の左前打で加点した。鹿町は初回二死一三塁の逸機が響き、4年ぶり6度目の選手権出場で、5勝目を挙げることはできなかった。

【鹿町】	打安点
⑥川尻秀	3 0 0
⑨前田一	2 0 0
9近藤	1 0 0
②川尻武	3 0 0
⑦荒木拓	2 0 0
④前田木	3 0 0
⑧松田泰	2 0 0
8松田一	1 0 0
③吉浦	3 1 0
①浜田	2 0 0
H森田	1 0 0
⑤小村	2 1 0
	25 2 0

【平戸】	打安点
⑨井手口	3 0 0
①草合	3 0 0
②松本	2 0 0
⑥阿部	2 1 0
⑤椎葉	3 0 0
⑧米田	3 1 0
④松元	2 0 0
4前田	1 1 1
③出口	3 0 1
⑦大石	3 0 0
	25 3 2

### 平戸の猛反撃をソニーがかわす

【二回戦】(ビッグN:第5試合)

平戸クラブ	000 000 2	4	2	2	1	0	1	1	4
ソニーセキヤク九州	010 020 X	3	3	6	3	2	2	1	9

【評】手堅い攻めを見せたソニーが競り勝った。二回のソニーは無死一三塁から、相手捕手の二盗阻止の間に三走の平湯が判断良く生還して1点先行。五回には無死一三塁から佐野のスライズと種村の中前打で加点した。平戸は七回に2番手投手を攻め、1点差に迫ったがあと一步及ばず、3年連続23回目の選手権も、近年8大会で挙げた白星は、19回目の平成9年に当時の強豪、県経済連から挙げた1個のみ。

【ソニー】	打安点
⑧川下友	2 0 0
④佐野	2 0 1
⑥川原	3 1 0
③平湯	2 2 0
⑦種村	3 1 1
②西川	3 0 0
2岩田	0 0 0
⑤吉村	2 0 0
①水本	1 0 0
H川田	0 0 0
1森	0 0 0
⑨道上	1 0 0
	19 4 2

### 序盤に4点奪いアイケンが勝つ

【二回戦】(かきどまり:第1試合) 振球犠盗失併残

アイケン医院マッスルズ	112 002 0	6	2	1	1	3	0	0	5
三井楽クラブ	000 000 0	0	9	1	0	0	5	1	3

【二】黒澤2、牧瀬

【評】初回に黒澤と牧瀬の連続二塁打で先行したアイケンは、三回までに計4点。守っては分藤が被安打3、9安打の好投で三塁を踏ませなかった。三井楽クラブは第18回(S. 43年)大会が選手権初出場。24年ぶり2回目の平成4年に新進気鋭のソニー長崎に対して2-0で初勝利。今回10年ぶり3回目の選手権は何度かチャンスはあったが、バントや走塁ミスで初戦敗退。

【アイケン】	打安点
⑧酒井	4 1 0
⑥森内	3 0 0
④黒澤	4 3 0
②牧瀬	4 1 1
③宮寄	4 1 2
⑤松尾	3 0 0
⑨石井	1 0 0
H9白石	1 1 0
H9高増	1 0 0
⑦滝本	2 1 0
①分藤	3 1 1
	30 9 4

【三井楽】	打安点
⑤中村	2 0 0
⑥浜里	3 0 0
⑨浦上	3 0 0
③三田淳	3 1 0
④藤原勝	3 0 0
②三田浩	3 0 0
⑦田向	2 1 0
①松島	2 1 0
1藤原武	0 0 0
⑧山下正	2 0 0
	23 3 0

【国見】	打安点
⑦山本	1 0 0
⑨飯干	2 0 0
④佐藤	3 0 0
⑥川原	3 2 0
⑧堀田	3 0 0
②石井	2 0 0
⑤平田	2 0 0
③太田	2 0 0
①川崎	2 0 0
	20 2 0

### 三菱重工長崎が着実加点で完勝

【二回戦】(かきどまり:第2試合)

国見野球クラブ	000 000 0	0	4	2	1	0	6	1	2
三菱重工長崎	200 011 X	4	1	3	2	8	0	1	7

【評】三菱重工長崎は初回に国見・川崎の立ち上がりを攻め2点を先取。終盤は相手ミスにもつけ込み2点を加えた。被安打2の守田は走者を4人しか許さなかったが、1併殺もあり残塁は2走者。国見は南高地区代表で選手権初参加。初回の先制機を逃がしたのが痛く、五回からは三者凡退に終わった。

【三菱】	打安点
④宮本	3 0 0
⑨菅	4 2 0
⑧江添	2 0 0
③香村	2 0 1
⑥中田	2 0 1
⑦嵩下	2 0 0
7上田	1 1 0
②石川	3 0 0
①守田	3 1 0
⑤平野	2 0 0
	24 4 2

【松浦】	打安点
④榎並	3 0 0
⑧松田	2 1 0
⑤井戸	4 0 0
①田崎	3 2 1
③広川	3 1 2
R3浜崎	1 0 0
⑥梶川	3 1 0
②山崎	3 1 0
⑨加椎	2 1 0
9金子	1 0 0
⑦青木	2 0 0
H7柴山	1 0 0
	28 7 3

### 松浦、機動力生かし追加点

【二回戦】(かきどまり:第3試合) 振球犠盗失併残

松浦市役所	201 020 0	5	2	4	0	10	2	0	6
勝本北星	000 000 0	0	5	0	1	0	4	1	6

【二】田崎

【評】初回、四球と盗塁でチャンスを広げた松浦は、広川の右中間打で2点を先取。三、五回にも足を生かして追加点を挙げた。2年連続で老岐地区代表の勝本北星は、初回から中盤にかけて何度か反撃機を迎えたがあと1本が出ずに、8回目選手権も7大会連続で白星がない。

【勝本】	打安点
⑧安永	3 1 0
⑥永元	3 0 0
⑤日高	3 0 0
③小畑剛	2 0 0
3米倉	1 0 0
⑨1松本	3 0 0
②品川	3 1 0
⑦浦川	2 0 0
7中村	1 0 0
①9岩本	3 1 0
④小畑雄	2 1 0
	26 4 0

【島原】打安点

⑤	村田	3	0	0
③	堀川	3	1	0
⑥	柴田	3	1	0
①	北田	3	0	0
⑧	北吉	3	0	0
⑦	小林	2	0	0
⑨	山本	2	0	0
②	本多	3	0	0
④	佐藤	2	0	0
H	宮崎	1	0	0
		25	2	0

# 小長井、終盤均衡破り制す

【二回戦】(かきどまり：第4試合) 振球犠盗失併残

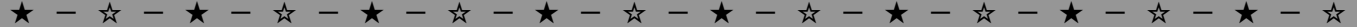
島原市役所	000 000 0	0	6	2	0	0	0	1	6
小長井クラブ	000 002 X	2	3	5	0	4	2	0	5

【評】初回に絶好のチャンスを逃がした小長井は、六回に辻和と宮崎が中前に運び、内田が見事にエンドランを決めて均衡を破る2点を先取した。

4年ぶり10回目出場の島原市役所は、三回まで走者を置きながら得点できず、計4残塁としたのが響いて、5大会連続初戦で敗退した。

【小長井】打安点

②	辻英	2	0	0
④	富永	2	1	0
H4	横田	1	0	0
⑥	辻和	3	1	0
③	宮崎	2	1	0
⑨	新宮	3	0	0
⑧	内田	2	1	2
⑦	花木	2	0	0
①	池田	2	0	0
1	本正	1	0	0
⑤	小林	1	0	0
		21	4	2



大会第2日は11月3日、ビッグNスタジアムとかきどまり野球場で準々決勝、準決勝の6試合を行ない、親和銀行と三菱重工長崎が決勝戦に進出。4年連続9回目の両チームによる顔合わせとなった。

V候補の一角に挙げられていたソニーセミコンダクタ九州は、準々決勝でTEAM橋口に1-2で惜敗した。

(平成14年11月4日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

【親和】打安点

⑨	北田	4	0	0
⑧	丸本	3	1	0
⑦	中田	4	1	2
⑤	添田	4	2	1
②	田口	3	0	0
③	沖田	2	0	0
⑥	森山	3	2	1
①	江口	3	1	2
④	原野	1	0	0
H4	平野	0	0	0
		27	7	6

# 親和銀行が地力で圧倒

## 初回好機逃し 若松大差負け

【準々決勝】(かきどまり：第1試合) 振球犠盗失併残 (6回コールド)

親和銀行	100 223	8	2	5	0	1	0	0	6
若松クラブ	000 000	0	4	0	0	0	2	0	2

【評】親和銀行はチャンスに安打が出て着実に加点。5-0で迎えた六回には相手ミスも誘って3点を奪い、コールド勝ちを決めた。

初回の連打を生かせなかった若松は二回以降、親銀の江口に三者凡退に抑えられたが、初出場の県選手権大会で1勝を挙げて親和銀行との対戦は収穫。

【若松】打安点

⑥	森下	3	0	0
⑦	濱崎	3	0	0
③	榎山	2	1	0
⑤	白石	2	1	0
⑨	畑田	2	0	0
①	吉村直	2	0	0
②	荒木	2	0	0
⑧	鶴瀬	2	0	0
④	深浦	1	0	0
H	吉村正	1	0	0
		20	2	0

【ソニー】打安点

⑧	川下友	3	0	0
④	佐野	1	0	0
⑥	川原	2	1	0
③	平湯	2	0	0
⑦	種村	3	1	0
⑤	中尾	3	1	0
②	戸嶋	1	0	0
H	川田	1	0	0
①	森田	1	0	0
1	本田	1	0	0
H	西川	1	0	0
⑨	道上	3	2	1
		22	5	1

# 清水が3安打、橋口接戦制す

【準々決勝】(かきどまり：第2試合) 振球犠盗失併残

ソニーセミコンダクタ九州	010 000 0	1	3	3	3	0	1	0	6
TEAM橋口	001 010 X	2	6	3	2	3	0	0	6

【評】橋口は1番清水が三塁打を含む3安打で得点に絡む活躍。守っても、内外野とも無失策で接戦をモノにした。

平成4年大会から11年連続12回目の出場のソニーは、挙げた得点が二回に先取した1点だけ。六回一死二三塁を無得点に終わったのが痛かった。

ソニーは、前年の準々決勝でもTEAM橋口に敗戦している。

【橋口】打安点

⑤	清水	3	3	0
②	高瀬	2	0	0
⑧	岸川	1	0	0
③	本村	2	1	2
⑦	浦川	2	0	0
⑥	大島航	3	0	0
①	酒井	3	0	0
④	浅沼	3	0	0
⑨	真鍋	2	0	0
		21	4	2

【三菱】打安点

④	宮本	4	2	0
⑨	菅下	3	0	0
7	嵩村	0	0	0
⑥	中村	4	1	1
③	香田	3	1	1
⑧	江添	2	1	0
⑦	上田	2	1	0
H3	石川	1	0	0
②	鈴木	4	0	0
①	永田	3	0	0
1	守田	0	0	0
⑤	平野	2	0	0
		28	6	2

# 特別延長の熱戦、アイケンが惜敗

【準々決勝】(ビッグN：第1試合) 振球犠盗失併残

三菱重工長崎	000 000 04	4	7	4	4	1	2	0	9
アイケン医院マッスルスズ	000 000 02	2	4	2	2	0	1	0	5

(延長8回は無死満塁制)

【評】三菱重工長崎が無死満塁制の特別延長戦の末、アイケン医院に競り勝った。延長八回の三菱は先頭中村が四球を選んで押し出し。さらに内野ゴロや敵失に乗じてこの回に4点を挙げた。

選手権初出場のアイケンは先発の松尾が七回まで無失点と力投したが、最後は味方の失策に足元をすくわれた。

【アイケン】打安点

⑤	中野	4	0	0
⑧	酒井	3	0	0
④	黒澤	3	1	0
②	牧瀬	3	0	0
③	宮崎	3	1	0
⑥	森内	2	0	0
⑨	浦本	2	0	0
⑦	滝本	1	0	0
H	分藤	1	0	1
①	松尾	2	0	1
		24	2	2

【松浦】打安点

④	榎並	4	2	0
⑧	松田	4	1	0
⑥	荒木	2	1	0
③	田崎	2	1	1
⑤	梶川	1	1	0
⑨	金子	1	0	0
H9	柴山	2	0	0
②	山崎	2	0	1
⑦	青木	3	0	0
①	中野	3	0	0
		24	6	2

# 敵失突いて小長井が決勝点

【準々決勝】(ビッグN：第2試合) 振球犠盗失併残

松浦市役所	100 110 0	3	4	7	2	5	2	0	6
小長井クラブ	000 301 X	4	1	4	2	3	2	1	5

【評】小長井が1点を争う攻防を制した。3-3で同点の六回、小長井は四球の内田が盗塁とバントで三進。次打者のとき三本間に挟まれたが、敵失に乗じて決勝のホームを踏んだ。松浦は中盤まで優位に試合を進めたものの、拙守が響いた。

【小長井】打安点

⑥	辻和	3	0	0
④	富永	2	0	0
H12	辻英	2	0	0
③	宮崎	2	1	0
⑨	新宮	2	1	0
1	池田貴	0	0	0
⑧	内田	2	1	0
⑦	花木	2	1	1
7	鶴田	0	0	0
②	中村信	0	0	0
H15	本田	2	1	1
⑤	小松	2	0	0
		19	5	2

【親和】打安点

④	原田	3	0	0
⑤	徳永	2	1	0
⑧	丸本	3	1	0
③	添田	3	1	1
②	前川	3	1	1
⑦	中村	3	0	0
⑨	北田	2	1	0
H7	中田	1	0	0
①	山口	2	1	0
⑥	森山	3	0	0
		25	6	2

## TEAM橋口 攻撃ミス響く

【準決勝】(かきどまり：第3試合) 振球犠盗失併残

親和銀行	000 101 0	2	2	2	0	2	1	0	4
TEAM橋口	000 000 0	0	4	0	1	0	0	2	1

【評】三回まで三者凡退の親和銀行は、四回に徳永と添田の巧打先制点。六回には丸本と前川で1点を加えた。山口は低めに集めて粘投。バックも思い切りのいい守備でピンチの芽を摘んだ。

TEAM橋口は再三走者を出したが、バント失敗で封殺されたり、牽制で刺されたのが痛かった。エース酒井は制球良く丁寧に投げ、バックの好守を再三見せた。大村地区から2年連続2回目出場し前年準決勝でも親銀に封じられはしたが、前年同様に準々決勝でソニーを倒して連続ベスト4。

【橋口】打安点

⑤	清水	3	0	0
②	高岸	3	1	0
⑧	瀬川	3	0	0
③	本村	3	1	0
⑦	浦川	2	0	0
9	大島義	0	0	0
⑥	大島航	2	0	0
①	酒井	2	1	0
⑨	真鍋	2	1	0
7	中嶋	0	0	0
④	浅沼	1	0	0
		21	4	0



4回を被安打1、無失点と好投した三菱重工長崎の先発赤瀬

## 重工の2投手カーブ冴える

【準々決勝】(ビッグN：第3試合) 振球犠盗失併残

三菱重工長崎	021 001 0	4	2	0	2	2	0	0	4
小長井クラブ	000 000 0	0	7	0	0	0	5	0	1

【評】重工長崎が2投手の継投で小長井を零封した。先発の赤瀬は落差のあるカーブを武器に四回を被安打1。救援の小森も伸びのある直球とカーブで高低を揺さぶり、打線は全得点を敵失に乗じて挙げた。小長井クラブは2年連続7回目の県選手権。平成元年(3回目出場)以来二度目のベスト4だった。

【三菱】打安点

④	宮本	4	0	0
⑨	菅	3	0	0
⑥	中村	3	0	0
③	香田	3	1	0
⑧	江添	2	1	0
8	上田	0	0	0
⑦	嵩下	2	0	0
②	石川	3	0	0
①	赤瀬	2	0	0
1	小森	0	0	0
⑤	平野	3	0	0
		25	2	0

【小長井】打安点

②	辻英	3	0	0
④	富永	2	0	0
4	山口	1	0	0
⑥	辻和	2	0	0
H	中村	1	0	0
③	宮崎	2	0	0
H	尾崎	1	0	0
⑨	内田	2	0	0
⑧	鶴田	2	0	0
⑦	花木	1	0	0
H7	池昌	1	0	0
⑤	本田	1	0	0
H	新宮	1	0	0
5	小松	0	0	0
①	池田貴	2	1	0
		22	1	0

大会最終日は11月4日、ビッグNスタジアムで決勝戦を行ない三菱重工長崎が2年ぶり13度目の優勝を飾った。三菱重工長崎は0-0の九回裏に敵失に乗じて無死満塁の好機を築き、4番江添が中堅へサヨナラとなる犠飛を放った。六回まで無安打と当たりが無かったが、ワン

チャンスを確実に得点に結び付けた。先発の永田も伸びのある直球を軸に、強打の親和銀行打線を4安打完封した。親和銀行は中盤まで試合を優位に進めながら決定打が出なかった。

(平成14年11月5日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

# 三菱重工長崎が2年ぶりV 親和銀行にサヨナラ 13度目

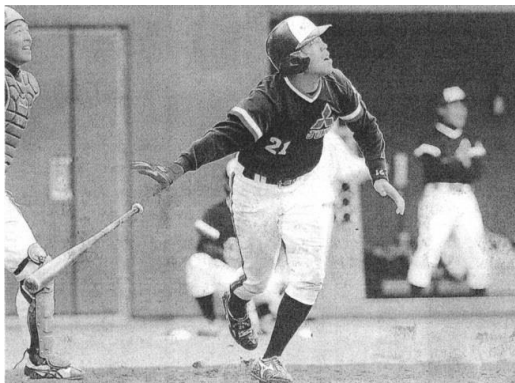
表彰選手	最高殊勲選手賞	永田 勝厳 (三菱重工)
	最優秀投手賞	永田 勝厳 (三菱重工)
	打撃賞	北田 勝次 (親和銀行)
	敢闘賞	山田 幸一 (親和銀行)

【決勝戦】11/4 ビッグN 振球犠盗失併残

親和銀行	000 000 000	0	2	3	2	3	3	0	7
三菱重工長崎	000 000 001x	1	5	2	1	0	0	0	5

【評】ワンチャンスを物にした三菱重工長崎が、親和銀行に競り勝った。三菱重工は八回まで親和銀行の山田の前にわずか2安打と三塁も踏めなかった。しかし、九回に宮本が四球を選ぶと、相手守備が2失策と乱れ無死満塁の好機を築く。ここで4番の江添が置きにきた直球を中堅に運び、三走の宮本を迎え入れた。先発の永田も再三ピンチを背負ったが粘り強く投げ得点を許さなかった。親和銀行は四、七回と得点圏に走者を進めたが決定打が出ずじまい。バックも3失策と乱れ、力投の山田を援護できなかった。

【親和】打安点	【三菱】打安点						
④原田	3 1 0	④宮本	3 0 0				
⑤徳永	2 1 0	⑨菅	4 0 0				
⑧丸本	4 0 0	⑥中村	4 1 0				
③添田	3 1 0	⑧江添	3 0 1				
②前川	3 0 0	③香田	3 0 0				
⑦中田	3 0 0	⑦上田	3 0 0				
⑨北田	4 1 0	②鈴木	3 1 0				
①山田	3 0 0	①永田	2 0 0				
⑥森山	2 0 0	⑤平野	3 0 0				
		27	4	0	28	2	1



9回裏三菱重工長崎一死満塁、4番江添がサヨナラとなる中犠飛を放つ

## 値千金サヨナラ犠飛

〇…「相手投手が直球で押ししていたので、直球一本に絞った。浅かったが、十分犠飛にはなるかなと…。最高の気分です」。最終回に値千金のサヨナラ犠飛を放った三菱重工長崎の主砲江添は、満面の笑みを浮かべた。

六回まで親和銀行の先発・山田の前に無安打、好機らしい好機も作れなかったが、「球威が落ちる終盤勝負」とチームも江添自信も焦りは全くなかったという。敵失で得た好機を逃がさなかった。チーム最年長の27歳。親しい友人には「もうそろそろ引き際かな」と漏らしていたが、主砲としての役目を果たし「若いチームなので僕もまだ必要な」と、来季の現役続行に欲が出てきた。



平成14年に開催されたその他の競技会の戦績 (一般のみ)

第57回国体一般B一次予選 5/18～:長崎

波佐見鴻ノ巣クラブ(東 彼)	0
WILD TURKEY (諫 早)	2 1 5
海自・大村(大 村)	6 7
峰ファイターズ(対 馬)	2 7
吉井クラブ(県 北)	4 2
安中クラブ(島 原)	5 10
九州電力長崎支店(長 崎)	6 6
エンゼルスクラブ(佐世保)	5 5
大瀬戸クラブ(西 彼)	0
島 倶 楽 部(平 戸)	0
松尾総業クラブ(南 高)	7 8 1
小長井クラブ(北 高)	3 2
上対馬クラブ(対 馬)	0 7
富江クラブ(福 江)	3 7
舩田グループ(上五島)	2 4
御厨ベイスターズ(松 浦)	0 2
佐世保市水道局(佐世保)	9 1
東海クラブ(杵 岐)	4

第57回国体一般B二次予選 6/15～:長崎

九州電力長崎支店(長 崎)	1
ソニセミコンダクタ九州(諫 早)	8 0
三菱重工長崎(長 崎)	7 7
富江クラブ(福 江)	0

第24回西日本1部県予選 4/6～8:諫早

波佐見クラブ(東 彼)	4
小長井クラブ(北 高)	5 0
西海クラブ(佐世保)	2 4
たちばな信用金庫(諫 早)	3 1
舩田グループ(上五島)	5 0
安中クラブ(島 原)	2 2
上対馬ライオンズ(対 馬)	0 1
松浦市役所(松 浦)	2 8
アスレックス(県 北)	0 0
大村市役所(大 村)	1 0
南串野球部(南 高)	3 4
西海BOWS(西 彼)	1 4
郷ノ浦ヤンキース(杵 岐)	3 6
九州電力長崎支店(長 崎)	1 3
平戸クラブ(平 戸)	2

第24回西日本大会1部 5/24～:山口県

- 【一】 4-0 リースキン広島
- 【二】 5-1 大津赤十字病院(滋賀)
- 【準々】 2-7 脇町体協(徳島)

高松宮賜杯第46回1部 6/1～:島原

大村市役所(大 村)	3
安中クラブ(島 原)	2 7
長崎市役所(長 崎)	5 8
波佐見鴻ノ巣クラブ(東 彼)	0 5
福江市役所野球部(福 江)	1 1
西海棒球队(西 彼)	失 0
松浦市役所(松 浦)	2 1
郷ノ浦ヤンキース(杵 岐)	5 1
たちばな信用金庫(諫 早)	3 0
南串野球部(南 高)	0 3
生月体協(県 北)	6 2
小長井クラブ(北 高)	3 5
豊玉町野球部(対 馬)	5 0
エンゼルスクラブ(佐世保)	0 5
若松クラブ(上五島)	5 0
島 倶 楽 部(平 戸)	4

九州ブロック(鹿児島)で敗退

第10回県壮年大会 10/19～:飯盛

第57回国体成年県予選 5/18～:波佐見

大村市役所(大 村)	1
40'OVERS(佐世保)	8 6
上五島迷球会(上五島)	0 0
長崎市役所(長 崎)	7 2 6
厳原壮年ブラボー(対 馬)	0 1
波佐見名球会(東 彼)	1 3
大瀬戸壮年野球部(西 彼)	1 0 1
轟壮年クラブ(北 高)	13 2 7
福江クラブ(福 江)	2 7
ヨシイホーツクラブ(諫 早)	2 2
松浦壮年クラブ(松 浦)	1

九州ミニ国体 8/30～:鹿児島県

一般Aで推薦の親和銀行が優勝。  
平成7年福島国体準優勝以来7年ぶり  
11回目の本国体に出場。  
一般Bの三菱重工長崎、成年の長崎  
市役所は九州で敗退。

第57回高知国体【一般A】 10/25～

- 株式会社親和銀行
- 【一】 1-5 旭食品(高知)

第24回西日本2部県予選 4/7,13:西彼

波佐見ローズ(東 彼)	2
池 島(西 彼)	3 10
新星クラブ(島 原)	7 6
奈留野球クラブ(福 江)	0 4
電源開発(松 浦)	7 1
箱崎クラブ(杵 岐)	0 2
佐世保東クラブ(佐世保)	0 0
浮亀ファンキーズ(大 村)	7 0
長崎県支払基金(長 崎)	9 15
西龍クラブ(平 戸)	0 4
国見野球クラブ(南 高)	12 3
アイランドスターズ(上五島)	0 4
森山クラブ(北 高)	4 2
鹿町バンビーズ(県 北)	0 8
厳原ファイターズ(対 馬)	0 9
ドルフィンズ(諫 早)	7

第24回西日本大会2部 5/17～:大阪府

- 【二】 16-3 特別学級(愛媛)
- 【準々】 2-6 紫式部(開催地)

高松宮賜杯第46回2部 5/25～:吉井、鹿町

ロンリーウルフ(佐世保)	2
ホワイトアパッチ(松 浦)	8 2
厳原ファイターズ(対 馬)	1 4
ATMB・アトム(諫 早)	6 20
千々石野球クラブ(南 高)	1 2
あすか電機(長 崎)	0 2
箱崎クラブ(杵 岐)	5 3
大村ベイスターズ(大 村)	4 5
西龍クラブ(平 戸)	14 0
崎山クラブ(福 江)	7 0
鹿町バンビーズ(県 北)	3 7
波佐見ローズ(東 彼)	1 1
大島ファイターズ(西 彼)	2 0
森山クラブ(北 高)	13 5
同志会(上五島)	4 0
健友クラブ(島 原)	2

九州ブロック(熊本)で敗退

福江クラブ(福 江)	1
大村市役所(大 村)	0 0 1
コーカスクラブ(長 崎)	1 0
波佐見名球会(東 彼)	6 0
北松壮年クラブ(県 北)	8 1 3
轟壮年クラブ(北 高)	7

天皇賜杯第57回県予選 7/6～:諫早

たちばな信用金庫(諫 早)	7
中興化成工業(松 浦)	0 1
西海棒球队(西 彼)	0 11
三菱重工長崎(長 崎)	2 棄
福江球友会(福 江)	0 2
アイケン医院マッスルズ(佐世保)	7 3
厳原マリナーズ(対 馬)	0 3
波佐見クラブ(東 彼)	2 2
飯盛クラブ(北 高)	0 1
上五島パジャーズ(上五島)	0
株親和銀行(佐世保)	2 5
新星クラブ(島 原)	10 0
平戸クラブ(平 戸)	0 0
大村市役所(大 村)	0 4
国見野球クラブ(南 高)	3 2
郷ノ浦ヤンキース(杵 岐)	1 1
ソニセミコンダクタ九州(諫 早)	9 5 18
長崎市役所(長 崎)	1 0
美津島クラブ(対 馬)	0 0
全 田 平(県 北)	4

天皇賜杯第57回全日本 10/20～:福岡県

- 三菱重工長崎
- 【一】 1-2 みちのく銀行(青森)

第25回九州選手権予選 4/20～:長崎

三菱重工長崎(長 崎)	6 2
轟 倶 楽 部(北 高)	2 7
全共済連本部(長 崎)	0
西部ガス(長 崎)	2 4
アイケン医院マッスルズ(佐世保)	6 0
ソニセミコンダクタ九州(諫 早)	2 4
全農県本部(長 崎)	1

2チームが九州大会へ

第6回西日本選手権予選 8/17～:島原

アイケン医院マッスルズ(佐世保)	0
西部ガス(長 崎)	0 2
ソニセミコンダクタ九州(諫 早)	3 5
轟 倶 楽 部(北 高)	1 4
全農県本部(長 崎)	4

第6回西日本選手権 10/11～:宮崎県

- 【一】 0-3 三井金属彦島(山口)

第54回県民体育大会 11/9～:佐世保

(北高来)小長井クラブ	0
(北松浦)鹿町バンビーズ	4 3
(松 浦)御厨ベイスターズ	0 2
(大 村)TEAM橋口	1 2
(平 戸)平戸クラブ	0 4
(福 江)福江クラブ	3 0
(西彼杵)池 島	1 1
(佐世保)アイケン医院マッスルズ	4 2
(島 原)安中クラブ	0 3
(南高来)吾妻町体協野球部	5 0
(長 崎)三菱重工長崎	5 1
(諫 早)ソニセミコンダクタ九州	2 2
(対 馬)上対馬メッツ	4 0
(南松浦)富江クラブ	3 3
(杵 岐)田河東海クラブ	4 0
(東彼杵)彼杵スラッガーズ	1

おじんクラブ(平 戸)	1
大瀬戸壮年野球部(西 彼)	1 9 2
ヨシイホーツクラブ(諫 早)	1
佐世保西海クラブ(佐世保)	2 8
松浦壮年クラブ(松 浦)	8 0
豊玉壮年クラブ(対 馬)	1